

監修/写真提供: 山口内科 院長 山口 泰 先生

# 若い人がかかりやすい マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという微生物に感染して起きる肺炎です。一般的な肺炎と違い、比較的症状が軽いいため、普通のかぜと見分けが付きにくい病気です。

## マイコプラズマってなに？

マイコプラズマは、一般的な肺炎の原因となる細菌とは異なり、細菌とウイルスの間の大きさの微生物です。肺炎には、一般的な肺炎の「**肺胞性肺炎**」とマイコプラズマ肺炎などの「**間質性肺炎**」の2種類があります。

マイコプラズマ肺炎のレントゲン写真  
霧のように部分的に白っぽく写るのが特徴

## マイコプラズマ肺炎の症状

2～3週間の潜伏期間のあとに、たんの出ない乾いた激しい咳、発熱、ひどい場合には息切れなどの症状が出ます。



## 《普通のかぜとの違い》

- 学校などで集団発生する
- たんの出ない乾いた咳が出る
- ペニシリンなどの抗生物質を飲んでもなかなか治らない

※マイコプラズマ肺炎かもしれないと思ったら、レントゲン写真を撮ってもらおう。

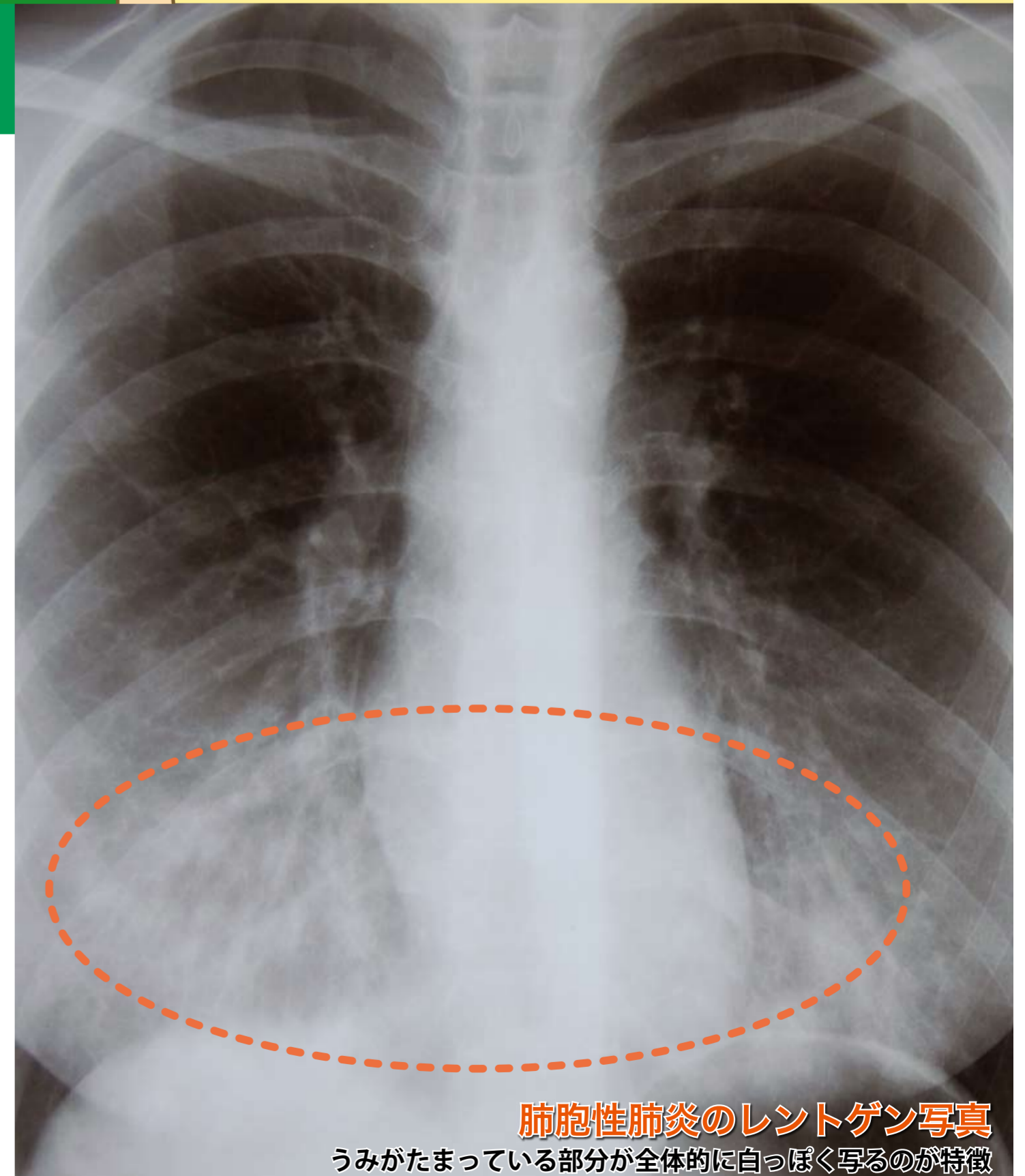
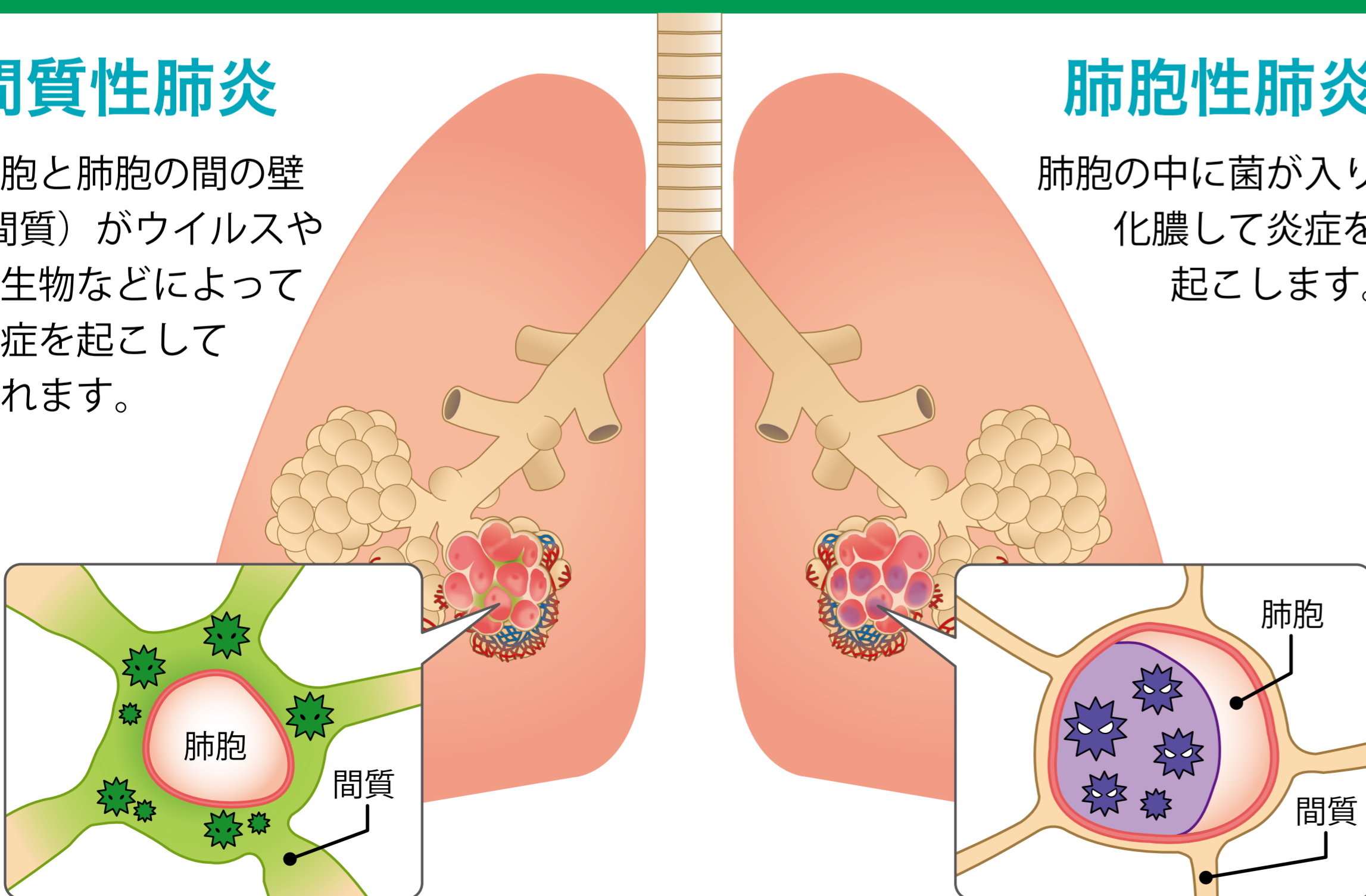
## 間質性肺炎と肺胞性肺炎の違い

### 間質性肺炎

肺胞と肺胞の間の壁(間質)がウイルスや微生物などによって炎症を起こして腫れます。

### 肺胞性肺炎

肺胞の中に菌が入り化膿して炎症を起こします。



肺胞性肺炎のレントゲン写真  
うみがたまっている部分が全体的に白っぽく写るのが特徴

マイコプラズマ肺炎の疑いがある症状が出たら、すぐに病院へ行って調べてもらうことが重要です。また周りの人へうつさないよう自宅で療養し、医師と相談の上、体調が回復してから登校しましょう。